



## 小林和香さん

芦屋南高校国際文化科(現芦屋国際高校)卒業生。ライフワークとして多様な性に関する活動を続けている。神戸IDAHO代表。

# 誰もが傷つかない社会へ

自分がセクシュアルマイノリティ(性的少数者)当事者だと自覚する前「セクシュアルマイノリティは『普通』の人ではない」と思い込んでいました。だから、自分がそうかもしれないと思った時、自分が何者なのか分からなくなり何年も悩みました。しかし、ある人の言葉で救われました。性のあり方は「ゆらいでもいいし、決めなくてもいい」と。セクシュアリティ(性のあり方)に関する課題は、実はみなさんを含めた「自分らしさ」に関する課題です。女/男らしくしないといけないと思いませんか? 中途半端ではいけないと思いませんか? 「性」を切り口に「生」

を考えていくと、「自分らしさ」について考えることになります。あなたの「自分らしさ」はあなた以外、誰にも決めることはできません。

セクシュアリティも、他のマイノリティに関する課題も、根本的な課題は同じところにつながっています。外国にルーツを持つ人があなたの友人の中にいませんか。その友人のことを思うとヘイトスピーチに心が痛みませんか。聴覚障害者の友人ができると、映画や動画を見た時に字幕がないことに気づけるようになるでしょう。発達障害という見えない障がいのことを学べば、「あいつは空気が読めない」そ

んな言葉も減っていくでしょう。「知る」ことで言動は変わっていきます。自分の身近なところにセクシュアルマイノリティの当事者がいるかもしれないということに気づけば、テレビの中でオネエタレントが嘲笑されているのを見たら、「それってほんまに笑うとこなん?」と感じたり、アンケートの男女欄を見たとき、「どちらかに丸をつけられない人がいるんじゃないか?」と疑問を持つようになるでしょう。この記事がだれもが傷つかない、そして傷つけない社会につながっていく一助になりますように。

## 仲岡しゅんさん

学童保育の指導員などを経て弁護士に。戸籍上の性別は男性だが、女性として弁護士登録。

# 子どもたちに伝える多様な性



学童保育の指導員を辞める3日前、子どもたちにセクシュアルマイノリティについて話しました。赤の折り紙を裏返すと『男』、青の折り紙を裏返すと『女』と書いてあります。これを見た子どもたちは、「先生、赤が男・青が女で逆になってる」と言ってきます。「赤は女の色で青は男の色っていう決まりあった? 赤が好きなお男の子や青の好きな女の子もいるよ。」と話す、素直に「そうだなあ」と答えます。

ここで恐ろしいのは、この子たちは生まれて6~8年ですが、すでに、『赤は女の色、青は男の色』とい

う刷り込みが始まっていることです。

「他にこんなものもあるよ」と他の折り紙を見せました。黄色の折り紙の裏には『中性』。「男と女の間の人もあるんだよ。」緑色の折り紙の裏には『両方』。「ある時は女の気持ち、ある時は男の気持ちを持っている人もいますよ。」ピンクの折り紙の裏には『トランス』。「男の子だったけど大人になったら女の人になっていたり、女の子が男の人になっていることもあるよ。」オレンジ色の折り紙の裏には『ハテナ』。「男だったら絶対にこう、女だったら絶対にこうということはないよ。」

「みんなは、いろんな性別があることを知らなかったでしょ。それは、数が少ないからないことになっていただけ。数が少ないのはいけないこと? 折り紙の中で金色銀色は数が少ないけど嫌い?」

「嫌いじゃない、好き。」  
数が少ないのはいけないのではなく、むしろ貴重な個性と言えます。もしかすると、自分の性って周りの人と違うんじゃないかなとか自分は仲間はずれなんじゃないかと悩む子もいるかもしれませんが、悩んだときには、この話を思い出して欲しいと思います。

## 一人一人が心がけてほしいこと



- 「ホモ」「オカマ」「変態」など差別的な言葉で傷つく人が、あなたの身近にもいます。日ごろの言葉遣いに少し気を配ってみませんか。
- テレビなどメディアの中のイメージだけがセクシュアルマイノリティだと、信じこまないようにしましょう。
- 恋愛の話題は、異性愛を前提としたものになりがちです。「彼氏/彼女は?」ではなく「パートナーは?」と聞くことで、セクシュアルマイノリティの人は答えやすくなります。
- 「何を望んでいるのか」は人によって違います。セクシュアルマイノリティの人から相談を受けたら、決めつけしないでまず「受け入れ」、時間をかけて話し合みましょう。

## これからの社会に望んでいること

- だれでも利用できるトイレを増やしてほしい
- 制服や更衣室に配慮してほしい
- 就職に不利な取り扱いをなくしてほしい
- 会社での差別の禁止や福利厚生面に配慮してほしい
- 本人にリスクがあるため、カミングアウトを求めないでほしい など



芦屋病院の多目的トイレ

## 市は、こんなことを行っています

- ◆市民向けの講座で啓発を図っています。
- ◆職員向け研修を通じ、理解を深めています。
- ◆職員が理解者であることをわかりやすく示す、レインボーカラーのバッジを作成しました。
- ◆申請書等の性別記載欄の削除を進めています。
- ◆性同一性障害の人へ国民健康保険被保険者証等を申請により通称名にて交付します。



- 相談したいときは・・・ よりそいホットライン  
フリーダイヤル☎0120-279-338 (24時間)



- 当事者や家族が集える場所などの情報を知りたいときは・・・

NPO法人QWRC  
(くおーく)



NPO法人  
LGBTの家族と  
友人をつなぐ会

